

# 平成27年度 学校生活満足度アンケート

本校をより魅力的な学校にしていけるよう、12月初旬に本校の保護者対象に「学校生活満足度アンケート」を実施しました。

各項目について、右の1～5の5段階で評価していただきました。

全学年の回答を集計し、全回答数に対する割合を以下の表にまとめました。割合は四捨五入している関係で、0.5%未満の項目は、0%と表示されていますが、0という項目は、必ずしもその項目を選んだ人がいないというわけではありません。

また、「とてもそう思う」と「そう思う」を合計したものと「どちらとも言えない」と「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合計したものを、表の右にまとめています。

1	2	3	4	5
とてもそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない

## 宗教的感性を持つ子ども

	1	2	3	4	5	1+2	3+4+5
1 学校は、キリスト教を基盤とした人間教育をおこなっている。	55	42	3	0	0	97	3
2 学校は、子どもたちが自分らしさに気づき、伸ばしていくことに喜びを感じさせている。	32	54	13	1	0	86	14
3 キリスト教教育は、子どもたちの人格形成に役立っている。	47	46	6	0	0	93	7
4 学校は、目に見えないもの(良心、優しさ、希望など)にも価値を認め、大切にできるよう導いている。	41	54	4	0	0	95	5
5 全学年でおこなっている「生と死の教育」は、命について考えるよい機会になっている。	56	40	3	1	0	96	4

## 聡明な子ども

6 授業には、子どもたちに分かりやすい工夫がなされている。	32	55	12	0	0	87	13
7 学校は、子どもたちが主体的に学ぼうという意識を育てている。	28	54	15	2	0	82	18
8 学校は、子どもたちが学び合いの中で、自分の力を発揮して関わることができるようにしている。	30	57	12	0	0	87	13
9 多様な学習形態(個別・発展・選択学習など)は、子どもたちの様々な学力を伸ばしている。	34	52	12	2	0	86	14
10 本校の英語教育(国際コースの方は、国際コースの指導)は、英語力の育成に効果的である。	39	44	14	3	0	83	17
11 学校は、子どもたちが生き生きと楽しく生活できるよい雰囲気になっている。	47	39	13	1	0	86	14

## 思いやりのある子ども

12 学校のいじめ防止基本方針や教育相談などは、効果的な取り組みにつながっている。	23	51	23	3	0	74	26
13 学校は、子どもたちが学級や学校で好ましい友達関係を持てるようにしている。	27	52	19	2	0	79	21
14 学校は、子どもたちが周りの人のために役立つことが自然にできるようにしている。	31	52	15	2	0	83	17
15 生徒指導では、子どもたちの気持ちや考えを尊重しながら必要な対応をしている。	30	51	17	2	0	81	19

## 心身ともにたくましい子ども

16 運動会や業間体育・放課後遊びなどは、子どもたちの体力作りに役立っている。	33	49	17	1	0	82	18
17 体育の授業は、子どもたちにとって必要な体力作りにつながっている。	29	50	19	2	0	79	21
18 学校は、子どもたちが苦しいことやいやなことにも、がまんや挑戦ができるように関わっている。	23	53	22	2	0	76	24
19 学校は、子どもたちが自分の責任を果たせるように適切な指導を行っている。	27	61	11	1	0	88	12
20 学校は、周りに流されないで正しいと思うことが実行できる子どもたちを育てている。	23	48	28	0	1	71	29
21 保護者は、子どもたちが学校でルールを守りけじめのある行動ができるように協力している。	19	53	23	4	1	72	28

## その他

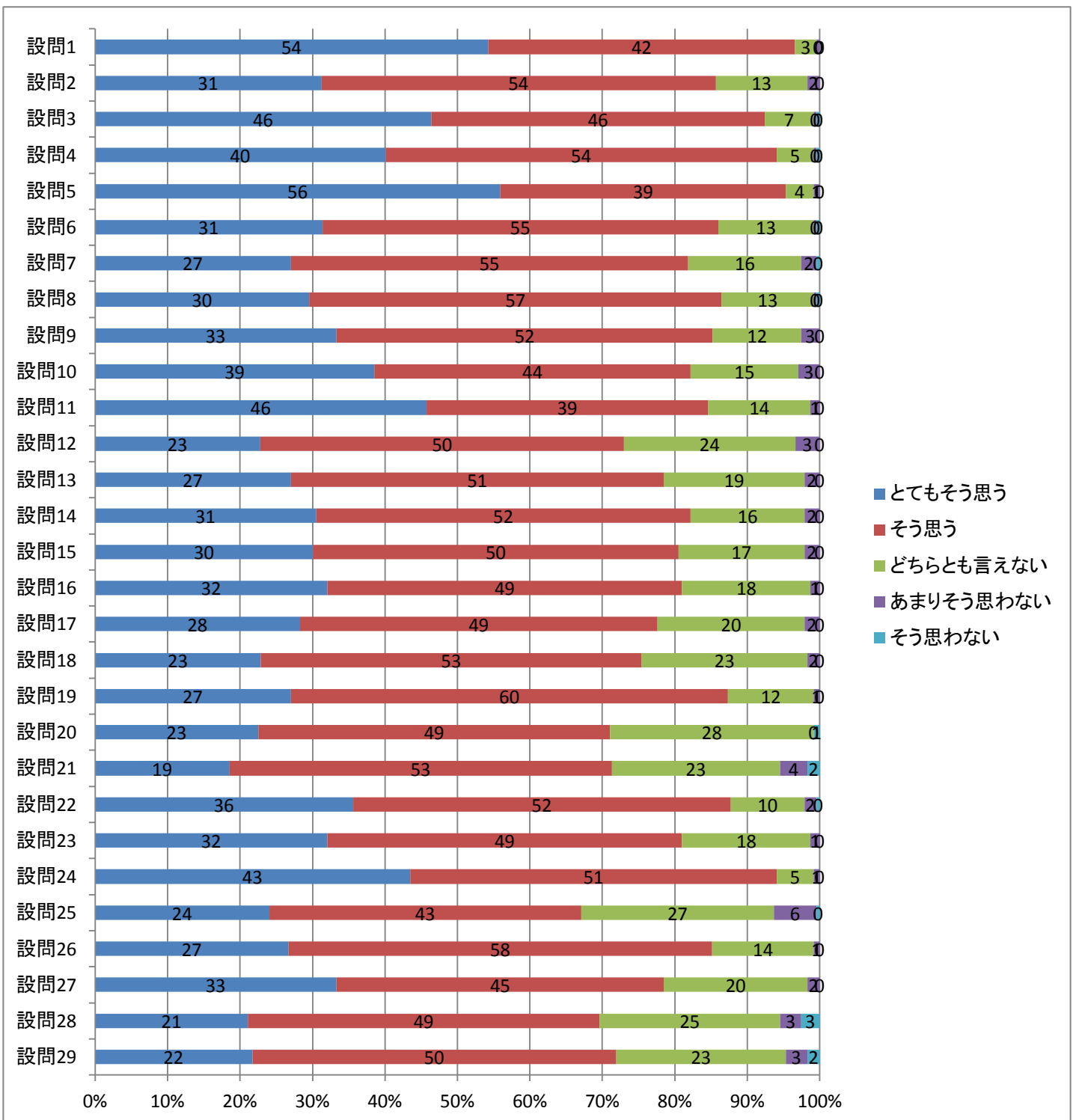
22 学校は、教育方針や教育内容を分かりやすく伝えている。	36	52	10	2	0	88	12
23 学校の改革(放課後活動の充実など)や改善の取り組みは、望ましい方向に進んでいる。	32	50	17	1	0	82	18
24 学年便り、NDタイムズ、文書、ホームページ、メール送信などは、適切な情報提供につながっている。	44	50	5	1	0	94	6
25 学校での学び(挨拶や会話の内容など)で、子どもたちの言動がよくなっていると感じることがある。	24	44	27	5	0	68	32
26 保護者のための行事(参観日など)や講座(ファミリーコースなど)は、必要な内容のものになっている。	28	58	13	1	0	86	14
27 保護者や子どもたちは、先生とよくコミュニケーションがとれている。	35	45	18	2	0	80	20
28 保護者は、わが子だけでなく周りの子も大切にしようという意識を持っている。	22	49	24	3	3	71	29
29 保護者は、学校と連携して教育活動に関わっている。	22	51	23	3	1	73	27

## アンケートからの考察

各項目に対する「どちらとも言えない」という評価については、4や5にしないまでも、1や2の評価をすることはできないと思われたと考え、1と2の評価の合計と3と4と5の評価を合計して考察しています。

1と2の評価(「とてもそう思う」と「そう思う」)の合計が、8割を切っているものは、9項目ありました。

3つのモットーのまとめで見ると、「思いやり」や「たくましさ」の項目に課題が多いようです。



いじめへの取り組みや望ましい友達関係作り、しんどいことややりたくないことへにもチャレンジしていく気持ち、保護者と学校との連携などについて、課題があることが分かりました。

「学校での学び(挨拶や会話の内容など)で、子どもたちの言動がよくなっていると感じることがある。」という項目が最も低い評価になっていますが、「もともと言動は悪くないので、あまりそう思わないにしました」という回答をいただいた方もあり、設問の言葉があまり適当でなかったかもしれません。

改善のアイデアや補足説明の中で、「学校は、保護者に対してもっと毅然と対応してほしい。」という意見が複数寄せられていました。皆様からの声には謙虚に耳を傾けつつ、私立の小学校には方針に賛同した人が集まっているはずなので、学校は自信を持って指導してほしいと励まされているのだと受け止めました。

## 平成27年度 プロファイルを活用した教職員による教育評価

プロフィールとは、本校を「卒業する時点での児童のあってほしい姿」を建学の理念に即して具体的に描き出し、教育活動の到達目標としたものです。

つまり、本校が目指している3つのモットーを具体的に子どもの姿として表現したものです。

3つのモットーは、4つの視点(1 宗教的感性 2 聡明さ 3 思いやり 4 たくましさ)に対応させて表現しています。活用にあたっては、次のような点に留意しています。

- ①それぞれの場で有効に活かしていくために目標を具体的な児童の姿としてもので、児童をこの姿に向けて追い込んでいくものではない。
- ②学校全体が志向する姿としての評価基準とし、児童個人のチェックポイントにはしない。
- ③「この教科ではこの点を」というように意識する手がかりとし、卒業する時点で、全体にある程度目配りができていたという結果を目指す。

学校の教育活動全体に対する評価として、1997年から行事や教育活動全体の反省へ活用しているため、比較検討できるものになっています。

過去5年の結果と合わせて、本年度の教育活動について、教職員で行った評価を提示しました。

常勤の教職員が3段階で評価したものを点数化しています。

- ◎=かなり近づいていくことができた ○=その方向に向かっていったと思える  
△=向かっていったとはいいがたい

1 宗教的感性を持つ子ども	評 価			◎2点 ○1点 △-2点 満点を100としたときの割合				
	◎	○	△	2015	2014	2013	2012	2011
1. 自分の心の中に神様の存在を感じています。	6	13	0	66	67	70	78	69
2. 神様に大切にされていることに気付いています。	2	17	0	55	60	70	64	57
3. 心を込めて祈ることができます。	6	12	1	58	60	28	64	67
4. 目に見えないものに対しても価値を認め、それらを大切にすることができます。	0	19	0	50	57	48	64	62
5. 自分らしさに気づき、よさを伸ばしていくことに喜びを感じています。	9	10	0	74	71	68	64	60
6. 創立者や聖人たちに学び、よりよく生きようと努力することができます。	3	16	0	58	52	50	30	26

2 聡明な子ども	◎	○	△	2015	2014	2013	2012	2011
1. 物事をじっくり考え、深く理解しようとします。	3	16	0	58	43	43	53	61
2. 自分の良心に従って行動しようと努力します。	3	15	1	50	52	55	56	66
3. よい学習習慣を身に付け、基礎的基本的な知識や技能を習得しようとします。	9	10	0	74	81			
4. 学び方を体得し、自ら進んで新しい課題に取り組もうとします。	6	13	0	66	60	75	72	71
5. ものを工夫し、つくり上げることに喜びを感じることができます。	10	9	0	83	76	73	75	82
6. もっと知りたいという好奇心を持ち、勉強・仕事・遊びなどを楽しみながらすることができます。	13	7	0	83	80			
7. 自分の感じたことや考えたことを人に分かるように表現します。	5	14	0	63	57	48	58	61
8. 相手の考えを尊重し、大切に聴き、学び合うことができます。	4	15	0	61	43	48	55	39

3 思いやりのある子ども	◎	○	△	2015	2014	2013	2012	2011
1. 優しい心で人を受け入れ、誰とでも力を合わせて活動したり勉強したりできます。	6	13	0	66	50	60	75	74
2. 素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができます。	4	16	0	60	74	64	78	63
3. 相手の気持ちを考えて、助けを必要としている人には、進んで手を差し伸べます。	9	10	0	74	62	55	74	66
4. クラスや学校をよくするために自分から進んで働こうとします。	5	14	0	63	61	60	66	61
5. 動物や植物など生きているものを大切にすることができます。	5	13	1	55	71	73	66	66
6. 感謝の気持ちをもって、ものを大切にします。	1	14	4	21	43	45	53	37
7. 広い心で、あらゆる立場の人に関心を持ち、理解しようとします。	0	17	2	34	38	58	56	66

#### 4 心身ともにたくましい子ども

	◎	○	△	2015	2014	2013	2012	2011
1. 自己の目標を持ち、それに向けてあきらめずに努力します。	1	18	0	53	63			
2. 健康な心身を作ろうと進んで運動に親しみます。	9	9	1	66	70	73	72	69
3. 失敗から学び、次に生かそうとします。	2	16	1	47	48			
4. まわりに流されないで、正しいと思うことが実行できます。	0	16	4	20	33	23	53	32
5. 責任を持って自分の果たすべき仕事をします。	5	14	1	55	62	57	61	63
6. 苦しいことや嫌なことでも、しなくてはならないことに挑戦します。	1	16	2	37	45	60	50	55

#### 考察

昨年度、全職員で18年ぶりにプロファイルの項目を見直し、修正と追加を行いました。

2013年度以前が空欄になっている項目は、改訂で新たに追加されたものです。従来からある項目についても、その際に一部言葉が修正されたものがあります。

「評価」の◎○△の下の数字は、その評価をした教職員の数です。評価をしなかった項目がある関係で、合計数が必ずしも同じになっていません。

各年度ごとの数字は、すべて◎となった場合を100点満点として、各項目を点数化したものです。

全職員が○(その方向にむかっていたと思える)を選んだ場合が50点になりますので、50点以下になっている項目に着目するという方法で分析しています。

「宗教的感性を持つ子ども」と「聡明な子ども」の項目については、今回50点を下回るものがなくなっているのはうれしいことでした。本校で比較的しっかりと取り組みがなされ、成果もあがっている部分といえることができるでしょうか。

一方で、残りの2つのモットーについては、昨年度と同じ「ものを大切にすること」「広い心で相手を理解しようとする事」「失敗から学んで生かそうとすること」「苦しいことでも挑戦すること」などの項目の評価が低くなっていて、しかも点数も下がっていることがうかがえます。

また、「まわりに流されないで正しいことを実行する」という項目は、5年連続で低い評価となっています。

いずれも、学校だけで成果をあげていくのは難しいことであり、またすぐに結果が出にくいものではありませんが、現状では、効果的な手立てを見つけることができていないということもできます。

学校で教育活動を計画していく時に、これら点数の低い項目を育てていくことを意識しながら立案し、年間を通じて取り組みを進める中で、1つずつでも改善の方向に向かわせたいと思います。